

愛媛

9月6日[土] → 10月13日[月・祝]
会場●愛媛県美術館



四国霊場開創
一〇〇〇年記念
四国連携事業



愛媛県浄土寺(土佐)上人公像(鎌倉時代)
写真/九州国立博物館提供 撮影/山崎信氏

四国霊場開創 1200年記念
空海の足音

四国へんろ展

8月23日[土] → 9月23日[火・祝]
会場●高知県立美術館



高知県 国分寺 南国市指定文化財
《板絵四界光明真言曼荼羅(胎藏界)》室町時代

大長志 八屋 一根 白国 天郷 道金 善甲 出弥 観神 大雲
窪尾 度栗 島宮 香分 峯倉 隆隆 通山 釈迦 茶羅 谷山 音院 興寺 迎寺



10月18日[土] → 11月24日[月・休]
会場●香川県立ミュージアム

香川



高知県 国分寺 高知県指定文化財《絹本着色 四界曼荼羅のうち金剛界》室町時代



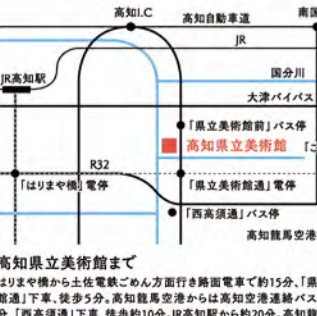
香川県立ミュージアム《弘法大師像(普通寺御影)》室町時代



徳島県 東林院 重文《弥勒菩薩坐像》平安時代



高知市民図書館 寺田正写真文庫所蔵《海舟道を行くお通殿さん》



高知県立美術館まで
はりまや橋から土佐電鉄ごめん方面行き踏切電車まで約15分。「県立美術館前」バス停。徒歩5分。高知龍馬空港からは高知空港連絡バスで約30分。「西高須通」下車。徒歩約10分。JR高知駅から約20分。高知龍馬空港から車で約30分。高知自動車道高知インターから車で約10分。



香川県 普通寺 国宝《金銅錫杖頭》中国唐時代

空海ゆかりの
数多の宝物と
遍路文化の
展開と背景



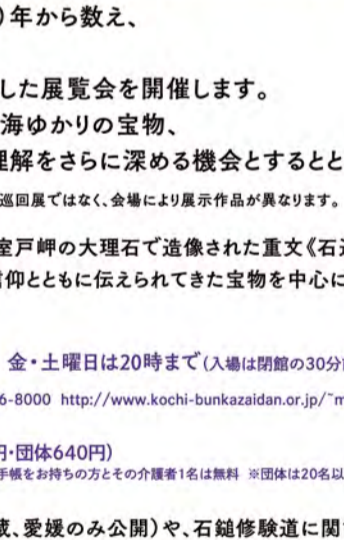
奈良県 東大寺 重文
《弘法大師坐像(普通寺御影)》室町時代



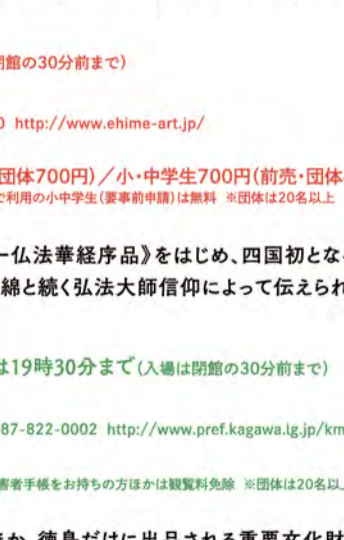
10月25日[土] → 11月30日[日]
会場●徳島県立博物館



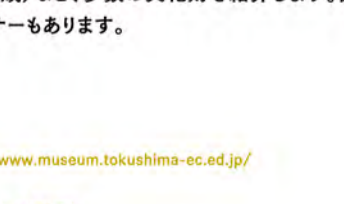
愛媛県 太山寺《阿弥陀の本地》(部分)室町時代



香川県立ミュージアム《弘法大師像(普通寺御影)》室町時代



徳島県 東林院 重文《弥勒菩薩坐像》平安時代



高知市民図書館 寺田正写真文庫所蔵《海舟道を行くお通殿さん》



徳島県立博物館まで
JR徳島駅から文化の森行きバスで約20分。JR文化の森駅から徒歩約35分。徳島阿波おどり空港から空港連絡バスで約30分。徳島駅でバス又はJRに乗り換え、徳島自動車道徳島インターから車で約30分。

平成26(2014)年は、空海が四国霊場を開創したと伝えられる弘仁6(815)年から数え、1200年という大きな節目を迎えます。これを記念して、四国4県の博物館・美術館では「四国へんろ」をテーマにした展覧会を開催します。八十八ヶ所の札所に伝わる貴重な文化財を中心に、四国外に伝来する空海ゆかりの宝物、遍路の歴史的な展開や背景を示す多彩な資料を紹介し、遍路文化への理解をさらに深める機会とするとともに、世界遺産登録に向けての機運の醸成を図りたいと考えています。 ※本展は巡回展ではなく、会場により展示作品が異なります。

高知 国宝《一字一仏法華経序品》(香川県普通寺所蔵)や空海修行の地・室戸岬の大理石で造像された重文《石造如意輪観音半跏像》(高知県最御崎寺所蔵)など土佐の霊場に弘法大師信仰とともに伝えられてきた宝物を中心に、国宝2件、重文約20件を含む多彩な作品約130件を展示します。

8月23日[土] → 9月23日[火・祝] 会期中無休 9時～17時 金・土曜日は20時まで(入場は閉館の30分前まで)
会場●高知県立美術館 〒781-8123 高知県高知市高須353-2 TEL 088-866-8000 <http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~museum/>
主 催●高知県、(公財)高知県文化財団、高知新聞社、RKC高知放送
観覧料●一般1,200円(前売1,000円)・団体960円/高校生800円(前売700円)・団体640円
※高校生以下、高知県及び高知市長寿手帳をお持ちの方、療育手帳・障害者手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※団体は20名以上

中世の霊場の様子を描いた国宝《一廻聖絵》(神奈川県清浄光寺所蔵、愛媛のみ公開)や、石鐘修験道に関する資料など愛媛の遍路の歴史をたどる名宝をはじめ、愛媛大学との共同調査で新しく見出された52番札所太山寺の文化財など約100件を紹介します。

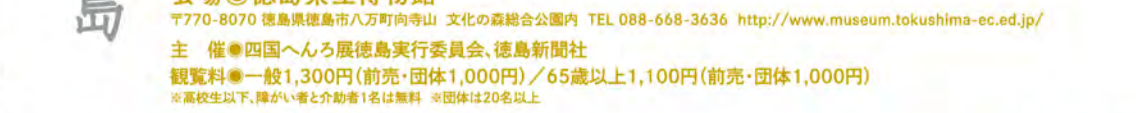
9月6日[土] → 10月13日[月・祝] 9時40分～18時(入場は閉館の30分前まで)
休館日:9/8,9/16,9/22,9/29,10/7
会場●愛媛県美術館 〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 TEL 089-932-0010 <http://www.ehime-art.jp/>
主 催●四国へんろ展 愛媛編 実行委員会(愛媛県、愛媛新聞社、あいテレビ)
観覧料●一般1,300円(前売・団体1,000円)/高校生・大学生1,000円(前売・団体700円)/小・中学生700円(前売・団体400円)
※65歳以上の方は前売料金で当日入場可 ※障害者手帳等をお持ちの方(介護者1名含む)及び学校活動で利用の小中学生(要事前申請)は無料 ※団体は20名以上

弘法大師空海の誕生地・普通寺所蔵の国宝《金銅錫杖頭》や《一字一仏法華経序品》をはじめ、四国初となる空海直筆の国宝《灌頂曆名》(京都府神護寺所蔵、香川のみ公開)など、連続と続く弘法大師信仰によって伝えられた、誕生地ならではの貴重な文化財をこの機会に紹介します。

10月18日[土] → 11月24日[月・休] 9時～17時 金曜日は19時30分まで(入場は閉館の30分前まで)
休館日:10/20,10/27,11/4,11/10,11/17
会場●香川県立ミュージアム 〒760-0030 香川県高松市玉藻町5-5 TEL 087-822-0002 <http://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/>
主 催●香川県立ミュージアム
観覧料●一般1,020円(前売・団体830円)/高校生以下無料 ※65歳以上、身体障害者手帳をお持ちの方ほかは観覧料免除 ※団体は20名以上

空海直筆の国宝《金剛般若経開題残巻》(奈良国立博物館所蔵)のほか、徳島だけに出品される重要文化財《性靈集》(京都府醍醐寺所蔵)、重要文化財《重源坐像》(兵庫県浄土寺所蔵)など、多数の文化財を紹介します。徳島県出身の写真家三好和義氏が「四国遍路のいま」を切り取った写真コーナーもあります。

10月25日[土] → 11月30日[日] 9時30分～17時
休館日:10/27,11/4,11/10,11/17,11/25
会場●徳島県立博物館 〒770-8070 徳島県徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園内 TEL 088-668-3636 <http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp/>
主 催●四国へんろ展徳島実行委員会、徳島新聞社
観覧料●一般1,300円(前売・団体1,000円)/65歳以上1,100円(前売・団体1,000円)
※高校生以下、障がい者及び介護者1名は無料 ※団体は20名以上



愛媛県美術館まで
JR松山駅から運後温泉又は市駅行き市内電車まで約5分。南瑞穂(愛媛県美術館前)下車。徒歩約1分。松山観光港からリムジンバスで約30分。「市駅」下車。徒歩約5分。松山空港から車で約15分。松山自動車道松山インターから約15分。



香川県立ミュージアムまで
JR高松駅から東へ900m。こども高松港駅から東へ800m。高松空港からリムジンバスで約35分。「JR高松港」下車。高松自動車道高松中央インターから車で約20分。